

# 真心を持って妥協せず 製造ラインの一翼に



## 株式会社 プラスワンテクノ

代表取締役  
能美 鈴香 (42)  
Suzuka Noumi

### PROFILE

1978年北九州市生まれ。西南女学院短期大学家政科卒業。2004年、実父が経営する(株)プラスワンテクノに入社。事務職を経て2016年、代表取締役に就任。

### 食品メーカーで活躍する オリジナルの自動計量機

皆さんは、カップ麺やカップスープに入っている少量の乾燥野菜やクルトンを見たことがあるでしょう。当社は、そのようなインスタント食品の乾燥した野菜や卵、肉、クルトン、小袋に入ったふりかけ、お茶漬、刻み海苔といった少量の具材を正確に計量する機械「プチスケール」を製造・販売している会社です。

会社は1996年、技術者だった父が創業しました。それまで食品メーカーには、大袋を計量するコンピュースケール



のような機械はありましたが、少量の計量機はなく、小分けした中身にばらつきがあり、歩留まりも悪いものでした。そこで父はお客様の力になろうと少量の自動計量機の開発を始めました。当初は試行錯誤して苦労したと思いますが、産官学連携による北九州市の関係機関や大学の先生方の協力もあって0.1グラムから計量できる機

械の製造に成功。大手食品メーカーとの取引をきっかけに次々と取引が決まり、今では皆さんがよく目にする多くの食品メーカーの製造ラインで当社の機械が活躍しています。

### 0.1グラムから計量可能! 国内外で特許取得の技術

「プチスケール」は、パイプを回転させ、原料を包装機に均一に送り出す「パイプフィーダ方式」を採用しています。これは国内特許・海外特許を取得した当社オリジナルの技術です。「パイプに溝があるのか?」とよく質問されますが、溝はなく、原料をパイプに送り込むインペラと呼ぶ羽根の種類やパイプの回転数、角度などを調節して、高速でかつ安定的に計量しています。複数の具材を1つの袋にまとめることもでき、例えば0.2グラムの具材4種類で0.8グラムの小袋をつくることも可能です。

製品は個別受注生産。お客様の製造ラインに合わせて開発・改良し、自社工場です。その中でもニッチな仕事ですが、生活に必要な食品づくりに携わっており、その製造ラインの一翼を担っている誇りや自負もあります。スーパーやコンビニで商品を見るたびに「お客様の役にやっている」というやりがいを感じます。

### お客様のために 真心で接していく

当社を希望する方は「モノづくりが好きな人」が多いですね。入社時に必要な資格や技術は特になく、入社後、技術部で機械の仕組みを理解し、先輩について学んでいってください。私は父の急逝にともなって跡を継ぎました。事務職をしながら父の仕事ぶりをそばで見えていたとはいえ機械の知識は浅かったのですが、かえってそれが良かったようにも思います。先入観もなく、がむしゃらに進むことができたからです。

私たちが扱うものは機械であり、発揮するのは技術ですが、お客様あってのものです。「お客様のためにどういうことができるか」を考え、真心を持って仕事することが大事だと思っています。目の前のお客様のため、仲間のため、家族のために、皆さんも先入観なく素直な心で知識や技術を吸収し、ゆくゆくは妥協せず、モノづくりを追求する力を身につけてもらえれば、と思います。

近年、助成金等を活用して設備投資をするメーカーが増え、引き合いは増えています。今後は開発に力を注ぐと同時に、「お客様満足度」の向上に向けて定期訪問などのサービスを強化していきたいと考えています。また食品に限らず、ペットフードや入浴剤、殺虫剤など幅広い業種に販路を広げ、海外メーカーとの取引にも力をいれていく予定です。将来的な目標は「社員が家族や友人に自慢できる会社」です。そのためにも会社としての組織をよりいっそう整え、私自身、社員と密にコミュニケーションを取って環境づくりに取り組んでいきます。

### 求む! 君たちの若き力

- モノづくりが好きな人
- 素直で元気のある人
- 真心を持って仕事する人

### 株式会社 プラスワンテクノ

〒807-0813 福岡県北九州市八幡西区夕原町9-3 TEL:093-644-6226  
●設立 1996年11月 ●<https://www.plusonetec.jp/>

採用情報は弊社ホームページを御覧ください。